

平成22年度 決算説明書／事務事業評価シート

部局名	保健福祉部
課室名	健康推進課

予算	款	項	目	決算書
	4	1	1	126 頁

目 名
保健衛生総務費

事務事業名称
母子保健事業

1. 概要

目的	安心して産み育てられる環境づくりをおこなう	対象	・就学までの乳幼児 ・妊婦 ・不妊治療を希望する者
事業概要	○母子保健事業(母子手帳交付)・・・妊娠から出産、育児までの健康管理手帳で、同時に妊婦・乳児一般健康診査受診票を交付 ○乳幼児学級(すくすくひろば)・・・生後4～5カ月児と6～7カ月児を対象にベビーマッサージや離乳食などを学ぶ ○両親学級(パパママひろば)・・・妊婦とその夫を対象に妊婦体操やお産の呼吸法、栄養、口腔ケア等について学ぶ ○母子保健事業(幼児精密)・・・発達や子育て不安のある親子を対象に、心理士や保育士等が相談に応じ、サービスにつないでいく ○1歳半・3歳半健康診査・・・医師や歯科医師の診察、発育発達チェックを行い、疾病の早期発見、子育てへの助言、支援を行う ○こんには赤ちゃん事業・・・育児不安の軽減と産後うつ予防、早期発見のため、生後4か月までの乳児に保健師が訪問する ○妊婦乳児健診・・・母子健康手帳交付時に、妊婦については14回分の受診券を発行。乳児については3～6カ月と9～11カ月の2回発行 ○不妊治療費助成・・・不妊治療を受けている夫婦に一般不妊治療費(5万円/年度)と特定不妊治療費(10万円/年度)の助成を行う ○親子交流事業(愛育会)・・・地域にすむ母子が集える場を提供するため、豊後大野市愛育会に母子交流事業を委託する ○一般行政経費		

臨/経	事業名	事業内容(主な経費等)	予算現額(千円)	決算額(千円)	財源内訳				評価
					国・県支出金	市債	その他	一般	
経常	母子保健事業	母子手帳交付 件数:232件 需用費	185	154				154	3
経常	乳幼児学級(すくすくひろば)	実施回数 12回 受診者 185人 報償費	105	90				90	3
経常	両親学級(パパママひろば)	実施回数 10回 受診者 61人 報償費	130	125	100			25	2
経常	母子保健事業(幼児精密)	実施回数 6回 延人数 19名 報償費	215	134				134	3
経常	1歳半・3歳半健康診査	1歳半 12回 202人 3歳半 12回 253人 委託料	2,276	1,847				1,847	3
経常	こんには赤ちゃん事業	訪問件数 252件 訪問率 98% 需用費	301	258	71			187	3
経常	妊婦乳児健診	妊婦14回 延3,356人 乳児2回 延405人 委託料	28,466	21,575	5,879			15,696	3
経常	不妊治療費助成	一般治療 22件 特定治療 8件 扶助費	2,460	1,438				1,438	3
経常	親子交流事業(愛育会)	各町ごとに実施 7回 委託料	180	147				147	3
経常	一般行政経費	需用費	8,467	6,511	37		200	6,274	3
計			42,785	32,279	6,087	0	200	25,992	

2. 指標設定

成果指標	指標名	安心して生み育てられる環境づくり		H27	指標の設定理由				
	数値	—			総合計画／後期基本計画において、基本施策(1-2-1)の基本目標としているため				
活動指標	指標	a	教室実施回数	b	健診受診率	c	不妊治療給付件数	d	訪問実施数
	数値	目標	24回	目標	95%	目標	20件	目標	—

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H20	H21	H22
安心して生み育てられる環境づくり		—	—	—

活動指標名	単位	H20	H21	H22
a 教室実施回数	回	20 回	20 回	22 回
		83.3 %	83.3 %	91.7 %
b 健診受診率	%	87.65 %	93.80 %	90.15 %
		92.3 %	98.7 %	94.9 %
c 不妊治療給付件数	件	16 件	14 件	18 件
		80.0 %	70.0 %	90.0 %
d 訪問実施数	件	261 件	234 件	252 件

4. 課題と対応

課題
健診の未受診者把握をおこない、未受診者をなくす
対応（改善点等）
未受診者に対する受診勧奨を行う

5. 事業費・・・H20～H22（決算額）、H23（予算現額）

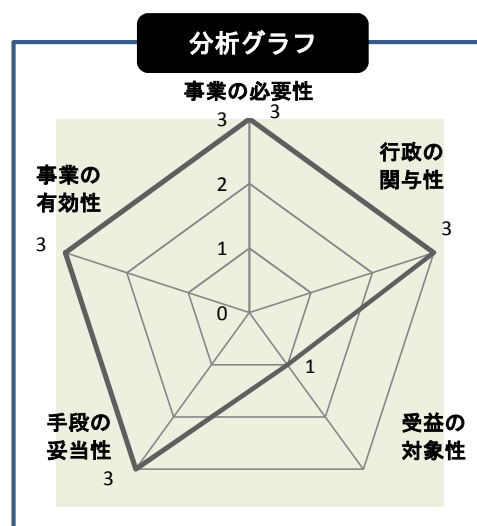
決算額（千円）		H20	H21	H22	H23
うち経常経費		15,917	25,542	32,279	40,484
財源内訳	国費	131	200	71	83
	県費		3,665	6,016	9,762
	市債				
	その他			200	
	一般財源	15,786	21,677	25,992	30,639
うち経常		15,786	21,677	25,992	30,639
事業費に係る人件費		33,961	34,133	35,038	34,400

6. H24年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
母子保健事業については、必要な事業であるため。

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 将来を担っていく子どもを安心して産み育てることが市の総合計画に位置づけられている
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 母子保健法により、自治体の責務となっているため
③ 受益の対象性	事業対象の確認	1 母子に限定しているため
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 目的達成のためには、現在のところ有効な手段と思われる
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 期待したとおりの効果があがっているため



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	事業の精査に努め、事業効果の向上を図ること